

授業科目名	スポーツと法			授業形態	講義		授業科目区分	専門科目 (基礎科目B)		
担当教員名	森 克己					補助担当者名				
単位数	2 単位			履修年次	3 年次		受け入れ人数	150名程度		
授業の概要	今日のスポーツにおいては、国民の誰もが身近なところで安全にスポーツを楽しむことができるようにすることが求められている。そのため、スポーツに関わる者は、スポーツ事故やスポーツ団体・クラブ等との契約、さらにはスポーツ指導者による体罰・虐待などの人権に関する法的問題に適切かつ迅速に対応するための法的知識並びにスポーツの安全に関する知識を身につけることが重要になっている。この授業では、社会体育指導者や現役のスポーツ選手として必要なこれらの知識を身につけることができるようにすることを目標とする。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、専門的な知識・教養 ()	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	スポーツに関する法的問題の基礎知識を身に付ける。 スポーツに関する安全に対する考え方を身に付ける。					○		90
		■情意的領域	授業に積極的に参加し、レポートに積極的に取り組む。	○		○				10
□技能的領域										
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課されるレポートへの取組みを総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：森克己ほか著『標準テキスト・スポーツ法学』（エイデル研究所） 参考書：小笠原正・諏訪仲夫監修、森克己ほか著『スポーツのリスクマネジメント』（ぎょうせい）『憲法と教育人権』（日本評論社）、『スポーツ法学入門』（体育施設出版）									
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッセージ含む)						
オフィス・アワー										
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	森 克己	オリエンテーション：学習の目的、内容、方法、評価のしかた				履修要項・シラバスの予習（10分以上）				
2	〃	スポーツに関する法的問題（総論）				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
3	〃	スポーツ法学の体系・法源①				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
4	〃	スポーツ法学の体系・法源②				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
5	〃	スポーツ基本法の概要				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
6	〃	スポーツの権利性				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
7	〃	スポーツ団体と競技者の法的諸問題（総論）				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
8	〃	スポーツ選手の人権問題とスポーツ仲裁制度				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
9	〃	スポーツにおけるチャイルド・プロテクション①				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
10	〃	スポーツにおけるチャイルド・プロテクション②				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
11	〃	スポーツ選手の肖像権・パブリシティ権保障の現状と課題				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
12	〃	スポーツにおける不法行為				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
13	〃	スポーツ事故と法的責任①				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
14	〃	スポーツ事故と法的責任②				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
15	〃	スポーツ事故と法的責任③				テキスト・資料等の予習・復習（30分以上）				
16	〃	(定期試験)								